



こんにちは、谷本公園の指定管理者「緑とコミュニティーグループ」です。

夏は植物が大きく成長する時期ということもあり、草刈を中心とした作業がほとんどとなっています。ビオトープでも草刈を行いました。通常の草刈とは違う工夫点がいくつかあるので、今回はその工夫をご紹介します。

草刈の工夫 ～ヨシの選択除草と刈り残し～

工夫①選択除草

ビオトープには様々な植物が生育しており、草刈は年2回程度を予定していますが、中には「タコノアシ」や「ミゾコウジュ」などの貴重な植物も確認されています。

機械で草刈をするとそれらの植物まで切ってしまうことがあるため、一部で特定の植物を探して手作業で根から抜く『選択除草』を行いました。今回はビオトープ内に多く生育しており、成長すると背が高くなって見通しが悪くなってしまいう「ヨシ」を探して除草しました。

これを行うことで、貴重な植物を刈ってしまうのを防ぐとともに、生育する植物をある程度コントロールすることができます。



ミゾコウジュ



タコノアシ



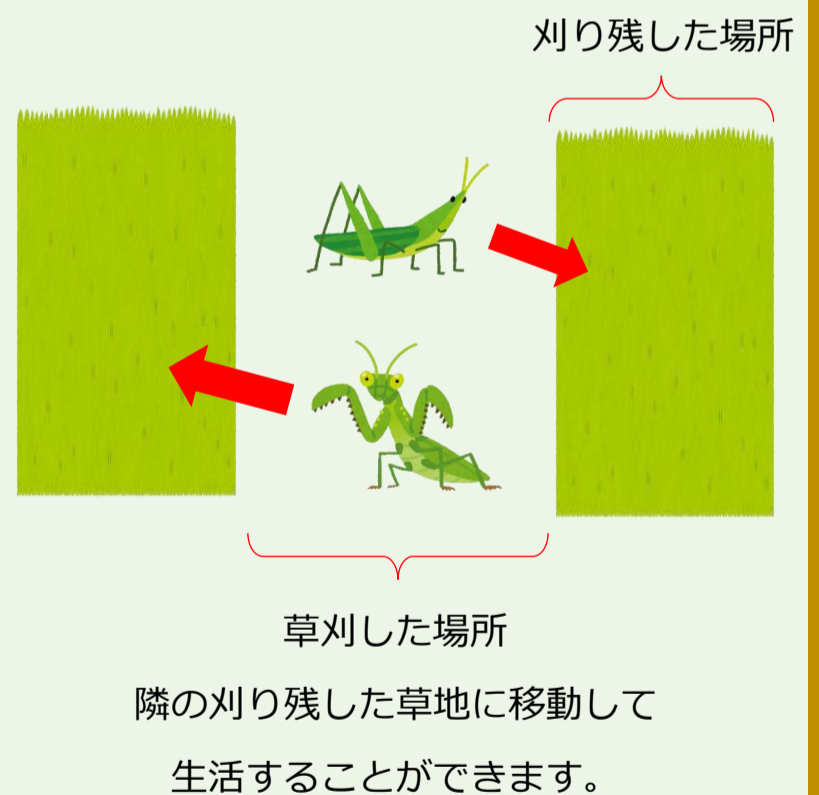
選択除草の様子

工夫②刈り残し

草刈をする際にビオトープ内の草を全部一斉に刈ってしまうと、そこに住んでいるバッタなどの生き物の住処や隠れ場所がなくなってしまい、鳥などに食べられて数が少なくなってしまいます。

そこで、生き物の生息場所を提供するために場所によって草刈をする時期をずらし、どの時期でもビオトープ内のどこかに住処や隠れ場所となる草があるという状況になるようにしています。

こうすることで、短い草地を好むバッタ以外にも、草丈の長い草地を好むカマキリやキリギリスなども住むことができ、生物多様性へとつながります。



植物図鑑作成中！

レストハウス内に園内で見られる昆虫図鑑を掲示していますが、新たに園内で見られる植物図鑑を作成中です。

もしご興味や写真の提供等してみたいという方がいらっしゃいましたら、管理事務所までご相談ください！

